

登録コード	E8303400	開講年度	2026				
授業科目	代数学特別演習					担当教員	佐久川 憲児
英文授業名	Advanced Seminar in Algebra					副担当	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	火曜・2時限		対象学生
講義室	教育N 3 0 4 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした数学的及び数学教育に関する使命感・倫理観の修得
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	教育活動を支え、実現する上で不可欠な代数学に関する知識・技能の修得
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	第1回に提示した文献の中から、受講者が関心を持った文献を一冊選び、熟読する。セミナー形式で各自の発表を行い、質疑応答・討議する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス，文献の選択 第2回：文献の内容に関する発表（序文） 第3回：文献の内容に関する発表（記号の準備） 第4回：文献の内容に関する発表（定義の紹介） 第5回：文献の内容に関する発表（定義の検討） 第6回：文献の内容に関する発表（具体例の紹介） 第7回：文献の内容に関する発表（具体例の検討） 第8回：文献の内容に関する発表（主定理） 第9回：文献の内容に関する発表（主定理の証明） 第10回：文献の内容に関する発表（応用） 第11回：関連する参考文献の提示 第12回：関連する参考文献の内容の検討 ※第12回までの内容は文献の内容に応じて調整を行う。 第13回：研究課題の設定（※受講者の人数に応じて，研究課題の数は調整を行う．） 第14回：研究課題の発表と研究方針の検討 第15回：研究方針の発表（主定理の証明の再検討） 第16回：研究方針の発表（主定理の反例の構成） 第17回：研究方針の発表（主定理の改良） 第18回：進捗状況の確認（主定理の証明の再検討） 第19回：進捗状況の確認（主定理の反例の構成） 第20回：進捗状況の確認（主定理の改良） 第21回：研究結果の発表（全体的理論のまとめ） 第22回：研究結果の発表（改良された主定理） 第23回：研究結果の発表（改良された主定理の応用） 第24回：成果の吟味 第25回：内容のまとめ 第26回：レポートの進捗状況の発表 第27回：レポートの最終チェック 第28回：最終発表，授業アンケート						
(6)成績評価の方法	各回の発表の内容（60％），及び質疑応答・議論の内容（40％）によって数学的及び数学教育に関する使命感・倫理観と代数学に関する知識・技能の修得を評価する。※評価割合は，若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	文献の内容を理解していれば可。それを用いて応用問題が解ければ良，発展問題が解ければ優，理論を再構成し自分の言葉で説明できれば秀とする。						
(8)事前事後学習の内容	教科書を理解し，発表の準備をする。授業後は授業中に指摘された事項を考察する						
(9)履修上の注意	他の受講者が発表する際には，積極的に意見を述べて討論すること。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問や相談等ありましたら sakugawa_kenji@shinshu-u.ac.jp へ連絡をください。対応します。						
【教科書】	未定						
【参考文献】	未定						